

令和 7 年 9 月 18 日

## ノルウェー出張 報告書

氏名: 堀田雄斗

所属: 名古屋大学・宇宙地球環境研究所/大学院工学研究科電気工学専攻

塩川研究室(修士 2 年)

滞在期間: 令和 7 年 9 月 6 日~令和 7 年 9 月 14 日

私は上記の日程でノルウェーを訪れ、Stø の観測施設において OMTIs の全天カメラおよび波長 630nm の O 原子大気光、ブロードバンドの OH 大気光を観測する ZWO カメラの設置、調整を行うとともに、現地の観測施設を見学した。設置は主に滞在 2 日目に行った。3 台のカメラの配線を整理し設置することに苦労したが、事前に頂いていた配線図通りに行うことができ、カメラの方角についても画像を確認しながら適切に調整することができた。私は主に OH の ZWO カメラを担当しており、設置を終えた日の夜は露光時間を 110 秒に設定し観測を行ったが、飽和している画像が多かったので翌日からは露光時間を 50 秒に修正し観測を行った。その結果得られた画像は問題ないと判断できたので、その設定を保った。

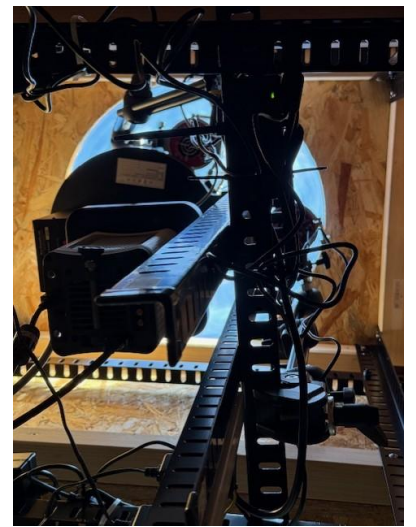


図 1 設置した全天カメラおよび ZWO カメラ

滞在 4 日目は主に現地の観測施設を見学した。Andøya 島の MAARSY レーダーや、ALOMAR (Arctic Lidar Observatory for Middle Atmosphere Research) と呼ばれる、ライダーを設置した高層大気の観測施設を見学することができた。大規模なライダーを目の前で見たのは初めてで、迫力に驚いた。

本出張ではカメラ設置の経験を得ることができ、現地の大規模な観測施設を見ることで刺激を受けることができた。このようなフィールドワークの経験を、自身の今後の研究に活かしていきたい。



図 2 ALOMAR のライダー